

池田公三・奥富喜一議員の一般質問概略についてお知らせいたします

池田公三議員の一般質問

一．人口減少を相当止められているとの見解について

- ① 「子育てしやすい街 第2位」は大いに市の内外にアピールすることが大事
- ② 子育て支援策などの成果で人口減少に歯止めがかかったとする市長見解について
- ③ 増えている外国人の年代別内訳をみるために、1月1日現在のデータを比較すると平成26年と平成27年比較 日本人の減少447人 外国人の増加179人
- ④ 外国人技能実習生の増加か
- ⑤ したがって、人口減少を相当止められているとは言えないと思うがどうか

二．人口減少に歯止めをかけるために何が必要か

- ① 人口減少のもう一つの原因である少子化現象（自然減）も20年間続いている
- ② 福生市にとっては出生率向上施策が大変効果あると思うがどうか
- ③ 転出抑制施策も他市より効果が期待できると思うがどうか
- ④ 出生率向上施策 新規の経済的支援事業がないが、検討したか
- ⑤ 転出抑制の施策 中学校給食2017年度実施に期待できると思うがどうか

三．少子化・人口流出対策として実効ある学校給食費無料化について

- ① 学校給食費無料化（または、希望者に全額補助）は子育て世代にとって最も有効な経済的支援であり、出生率向上につながると思うがどうか
- ② これに代わる、新たな出生率向上策を考えているか

四．子育て支援（経済的支援）に幅広い市民が参加できる施策を

- ① 「ふっさ子育てまるとくカード」について：平成23年度の市民アンケートから課題 子育て世帯と協賛店以外の市民が参加できないなど
- ② 大田原市の子育て支援券について
次の世代を担う子どもたちを行政・市民・商店が一体となって子育て支援など
- ③ 福生市も市民ぐるみで子育て支援（経済的支援）に取り組むことが必要と思うがどうか

奥富喜一議員の一般質問

一．横田基地について

(1) 基地機能の激変について

福生市や周辺市の住宅地上空低空飛行訓練の増加、住宅密集地である福生市周辺住宅地でのパラシュート降下訓練が2012年1月以来、年間500回前後と沖縄より増加している。1月20日～26日にかけてのF22ステルス戦闘機他20機の突然飛来目的は何か。横田基地に飛来した第18アグレッサー飛行隊とはどのような事をする部隊か。来年度後半に予定されているCV-22・特殊作戦部隊配備により、長距離侵攻作戦と敵地奥深くの戦闘搜索救難等の訓練・出撃基地化についてなどについて問う。

(2) 横田基地と日米新ガイドラインと安全保障法制（戦争法）について

自衛隊航空総隊司令部との一体化の軍事即応体制整備など、横田基地と日米新ガイドラインと安全保障法制（戦争法）について問う。こうした中で、加藤市長は福生市民の生活が、どうなるかと考えるかなどについて問う。

(3) オスプレイの横田基地配備等について

5市1町の要請行動にも係らず現実に、アメリカの国防予算案に横田基地へのCV22オスプレイ配備関連が、初めて計上されたと言う事実に接して、市民の安全・安心を守る最優先の立場として、どう動いたのかなど問う。

(4) IHI隣接地におけるゲート設置について

(5) ミサイル破壊措置命令と横田基地について

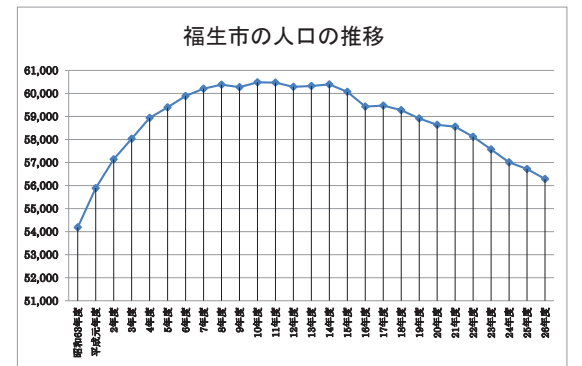
(6) 市政世論調査基地容認85%という結果等について

二．自由広場貸付事業（住宅建設）について

(1) 自由広場を年間400万円で民間事業者に貸すことについて

(2) コンビニエンスストア建設及び環境整備等について

2016/1/21 横田基地着陸F-22ステルス戦闘機



自由広場貸付事業とは
 旧第8小学校建設予定地を市が、1万1,429.18㎡（約4,372坪）固定資産税相当額（住宅用地としての土地に対する課税で1/6軽減適用）で算出し、50年間 年額400万円で貸し付けること
 ★イメージし易く、仮に30坪とした場合
 4,000,000円÷30坪÷4,372坪
 30坪の土地を 年間 約27,447円で借りて、家を建てて第三者（自衛隊員等）に賃貸して、業者として利益をあげること